# 令和６年度事業報告

当財団では設立以来３０年、「ARTS　FOR　EVERYONE（芸術を地域の方に、地域の方のために）」をスローガンに、心豊かで潤いと活力に満ちた県民生活を実現するため、文化芸術に関する各種事業を積極的に推進することにより県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することにより自主的な活動を支援し、人と人の交流、地域の活性化を図ってきました。

これまでの文化芸術及び公立文化施設を取り巻く環境の変化を踏まえ、そして、新型コロナ禍での経験と新型コロナ禍後を見据え、令和４年９月に「(公財)鳥取県文化振興財団の６つのミッション」を策定し、併せて県民文化会館及び倉吉未来中心の「公立文化施設」としての目指す方向を「3つのミッション」として明確にしました。

県民文化会館及び倉吉未来中心は、実演芸術の鑑賞・情報発信、館・館連携による地域への実演芸術鑑賞機会の創出をはじめ、舞台関係者、鑑賞者や地域の人々との交流が盛んに行われることにより、地域での新たな文化芸術理解者・支援者・実演者の創出や地域の魅力と賑わいが生まれる機能を担ってきました。

また、両館は、それぞれの地域の文化芸術を豊かに維持・発展するという大切な「公共の役割」を担い、市町村・市町村劇場及び地域の実演家・団体等と密接に結びついて、地域の方々に文化芸術、とりわけ実演芸術が日常生活の一部としてすぐそこにあるような環境づくりに取り組んできました。

**公１：文化芸術に関する各種の事業を推進することにより、県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することにより、自主的な活動を支援し、人と人との交流、地域の活性化を図るための文化芸術振興事業**

当財団は、文化芸術に関する各種の事業を推進することにより、県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することで、自主的な活動を支援し、もって心豊かで潤いと活力に満ちた県民生活の実現に寄与することを目的としており、この目的を達成するために、「文化芸術事業の基本方針」に掲げる重要項目・事業体系を踏まえて、その実現のための各種取り組みを実践し、文化芸術事業を推進しました。

また、「管理運営業務の基本方針」に掲げる重要項目及び上記を踏まえつつ、「文化芸術振興を図る拠点施設」である鳥取県立県民文化会館及び「人と人との交流を促進し、地域の活性化を図る」ための鳥取県立倉吉未来中心の管理運営を行い、施設の設置目的や特性を活かした文化振興に関する事業を積極的に実施するとともに、県民に広く活動の場を提供しました。

なお、施設の管理運営に関しては、指定管理者に指定されており、鳥取県と管理運営に関する協定等を締結の上、これを遵守してきました。

## １　文化振興財団事業【決算額 90,880 千円】

### （１）鑑賞プログラム　（決算額 58,067 千円）

STAGE３

#### ア　鑑賞公演

県内の文化芸術振興において鑑賞機会の提供及び鑑賞者の育成は不可欠であり、そのためにも上質な舞台公演鑑賞の機会を県民に提供していくことが重要です。全国トップクラスの機能を備えた県民文化会館梨花ホール、倉吉未来中心大ホール、その他県内の文化施設を活用し、指定管理事業に加え国内外の優れた舞台芸術を鑑賞する場を幅広く提供しました。

| | 事業名（公演名） | 開催時期 | 開催場所 | 入場者数 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 「La Mère 母」「Le Fils 息子」<br>2 日 2 公演 | 5 月 5 日(日)<br>6 日(月･祝) | エースパック未来中心<br>大ホール | 「「La Mère 母」　442 名<br>「「Le Fils 息子」 498 名 |
| 2 | チョ・ソンジン ピアノリサイタル | 6 月 6 日(木) | エースパック未来中心<br>大ホール | 886 名 |
| 3 | N響ほっとコンサート in 鳥取 | 7 月 30 日(火) | とりぎん文化会館<br>梨花ホール | 1,411 名 |
| 4 | 新日本フィルハーモニー交響楽団<br>アンサンブル・コンサート境港公演 | 12 月 1 日(日) | 境港市文化ホール | 365 名 |
| 5 | 大阪フィルハーモニー交響楽団<br>ハッピーニューイヤーコンサート 2025 | 1 月 13 日(月･祝) | エースパック未来中心<br>大ホール | 1,324 名 |
| ５事業６公演（東部１公演、中部４公演、西部１公演） | | | | 4,926 名 |

### イ　特別共催事業

#### （ア）報道機関（マスコミ）特別共催事業

| | 事業名（公演名） | 開催日 | 開催場所 | 入場者数 | 主　催 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 劇団四季ミュージカル「ジーザス・クライスト＝スーパースター[エルサレムバージョン]」 | 8月20日 | エースパック未来中心 大ホール | 1,258名 | ㈱新日本海新聞社 |
| 2 | 山陰放送開局70周年記念 「春風亭昇太・林家たい平・桂宮治 三人会」 | 2月16日 | 米子市公会堂 大ホール | 1,122名 | ㈱山陰放送 |
| ２事業２公演（中部１公演、西部１公演） | | | | 2,380名 | |

#### （イ）一般団体特別共催事業

| | 公演名 | 開催日 | 開催場所 | 入場者数 | 主　催 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 未生流米子支部100周年記念花展 ～うきたつこころ ひびかせ未来へ～祝宴会 | 4月28日 | 米子コンベンションセンター 多目的ホール | 800名 | 未生流米子支部 |
| 2 | うたざんまい オペラーズ☆スペシャルコンサート～谷口伸氏を迎えて～ | 7月16日 | 鳥取市文化ホール | 292名 | ＥＮ＋ＥＲ企画 |
| 3 | 酒田結 フルートリサイタル | 8月9日 | 米子コンベンションセンター 小ホール | 280名 | 酒田結フルートリサイタル実行委員会 |
| 4 | クインテット・コンサート～全ての弦楽器とピアノによる競演～vol.4 | 8月13日 | 米子コンベンションセンター 小ホール | 146名 | Garten der Musik |
| 5 | 中原美幸ソプラノリサイタル ～活動10年の感謝をこめて～ | 8月24日 | 鳥取市文化ホール | 129名 | ＥＮ＋ＥＲ企画 |
| 6 | 高木東六生誕120年記念 朗読とピアノ・歌でつづる「高木東六パリ留学日記」 | 9月1日 | 米子市公会堂 大ホール | 509名 | (一財)米子市文化財団 |
| 7 | ワンコインコンサートVol.7 | 9月23日 | 鳥取市文化ホール | 300名 | 鳥取アートプロダクション |
| 8 | BLACK BOTTOM BRASS BAND presents 「第6回 わっしょい米子祭り」 | 10月27日 | 米子市公会堂 大ホール | 442名 | わっしょい米子まつり実行委員会 |
| 9 | 古楽器の至宝　バルトルド・クイケン・バロック・フルート　リサイタル | 11月11日 | 鳥取市文化ホール | 185名 | バルトルド・クイケン鳥取公演実行委員会 |
| 10 | 2024鳥取県オーケストラ連盟演奏会 鳥取公演 | 11月17日 | とりぎん文化会館 梨花ホール | 857名 | 鳥取県オーケストラ連盟 |
| 11 | 県民による第九　第10回倉吉公演 | 12月1日 | エースパック未来中心 大ホール | 577名 | 県民による第九公演実行委員会 |
| 12 | ゆく年くる年 竹田詩織 華麗なるヴァイオリンソナタ＆ピアノクァルテット | 12月28日 | 米子市文化ホール メインホール | 247名 | 鳥取アートプロダクション |
| 13 | バロックヴィオラ、バロックチェロ、リュートによるバロックのお庭コンサートVol.3「地中海の躍動　島国の憂い」 | 3月1日 | 日本基督教団 鳥取教会 | 83名 | バロックのお庭 |
| １３事業１３公演（東部６公演、中部１公演、西部６公演） | | | | 4,847名 | |

### （２）とりアート実行委員会等事務局（県補助事業：第22回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2024）

STAGE１ STAGE２ STAGE３ **（決算額 26,461千円）**

鳥取県からの補助金を受けて、とりアート２０２４各事業（企画事業、地域連携事業、次世代育成事業、展示事業）の開催のため、鳥取県総合芸術文化祭実行委員会事務局の運営を行った。

**【実行委員会事務局関係】**

| 種　別 | 業　務　内　容 |
|---|---|
| 実行委員会 | ３回の会議を開催し、事業全体に係る実施方針や事業内容及び事業報告等に関する事項等について審議した。 |
| 部　会 | 地域連携事業部会において２回の会議を開催し、事業の進捗報告及び開催事業について協議した。※その他の事業部会については関係者との協議により事業を推進した。 |

**【参考：実行委員会事業関係】**

| 事　業　名 | 開催日 | 開催場所 | 入場者数 | 事　業　内　容 |
|---|---|---|---|---|
| とりアート2024<br>企画事業 | 1月26日 | とりぎん文化会館 | 延べ<br>900名 | プロアーティストと県内高校吹奏楽部員による吹奏楽公演を実施<br>公演名：未来への扉 TOTTORI SUPER BRASS |
| とりアート2024<br>地域連携事業 | 11月24日 | エースパック未来中心 | （本公演）<br>683名<br>（絵画展）<br>248名 | 開館する鳥取県立美術館と連携し、音楽と絵画作品をつなげるコンサートを実施<br>公演名：「～絵画と音楽で紡ぐ時間～Peinture×Musique」 |
| とりアート2024<br>次世代育成事業① | 9月15日 | エースパック未来中心 | 延べ<br>800名 | 高校生以下を対象としたダンスパフォーマンスの発表とワークショップを実施<br>公演名：「DANCE DANCE DANCE」 |
| とりアート2024<br>次世代育成事業② | 10月14日 | エースパック未来中心 | （本公演）<br>228名<br>（ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ）<br>32名 | 影絵鑑賞とワークショップを実施<br>公演名：劇団かかし座 長靴をはいたねこ |
| とりアート2024<br>次世代育成事業③ | 1月19日 | 米子市文化ホール | 延べ<br>250名 | 県内古典・郷土芸能の体験ワークショップ付の鑑賞公演を実施<br>公演名：い･ろ･は！～すごい！おもしろい！はじめてでも楽しめる古典･郷土芸能～ |
| とりアート2024<br>展示事業 | 1月11日<br>～26日 | エースパック未来中心<br>ほか | 978名 | 県内の多様なアーティスト及びその作品の周知や掘り起こし機会の提供のため統一テーマに沿ったアーティストの作品を県内各地区で巡回展示<br>事業名：COLOR MIX TORIART2024 |

**（3）教育普及プログラム（教育事業）（県補助事業：決算額 6,352千円）** STAGE１

鳥取県から補助金を受けて、芸術鑑賞教室（鳥取県芸術鑑賞教室（高等学校・特別支援学校）及び児童生徒を対象とした芸術文化事業（芸術鑑賞教室、青少年劇場小公演、青少年劇場巡回公演）の開催のための事務・事業の運営を行った。

**ア　芸術鑑賞教室**

・実 施 校：９校（高等学校６校、特別支援学校１校、高等専修学校２校）
・ジャンル：演劇、オペラ、能楽、音楽
・鑑賞者数：２，７３２名

**イ　児童生徒を対象とした文化芸術事業**

・実 施 校：小・中学校　延べ４６校
・ジャンル：音楽、演劇、古典芸能、邦楽、伝統芸能
・鑑賞者数：７，０２９名

**２　県民文化会館管理運営事業【決算額 348,467千円】**

**（1）施設の貸与事業（公益目的事業に係る施設貸与：50.0%）**

**ア　管理事務**

（ア）施設設備の維持管理に関すること
（イ）利用の許可に関すること
（ウ）利用者の応接に関すること
（エ）管理状況の報告に関すること

**イ　利用料徴収事務**

（ア）利用料の調定に関すること
（イ）利用料の収納及び還付に関すること
（ウ）利用状況の報告に関すること

## （2）地域の賑わい創出事業（決算額 1,740 千円）　STAGE１

### ア　県民文化会館にぎわい事業

財団協賛パートナー企業と連携・協働し、文化芸術による支援者同士の交流が生まれる機会を創出することを目的に実施する予定であったが、大雪予報のため開催中止とした。

・交流広場「Art salon（アートサロン）」2 月 21 日開催予定（開催中止）

### イ　けんぶんファミリープログラム

#### （ア）ＡＲＴＳ　ＦＯＲ　ＥＶＥＲＹＯＮＥ『アート ＳＱＵＡＲＥ 夢空間』

施設の特性を活かしながら、誰もが芸術文化に親しむ環境を生み出していくことを目的とし、新規鑑賞者の開拓を図るため、小学生を対象とした体験を含むプログラムやホットドリンクとお茶菓子付きのコンサート等、気軽に鑑賞できる場を提供した。

| 公演名 | 開催日 | 開催場所 | 入場者数 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| アート SQUARE 夢空間 vol.42<br>アート SQUARE 夢空間 スペシャル | 9 月 7 日 | とりぎん文化会館 小ホール | 124 名 | [出演]中原美幸(ｿﾌﾟﾗﾉ)、はまべゆかり(おはなし)、綿口裕美子(ﾋﾟｱﾉ)、湯淺いづみ(ｳﾞｧｲｵﾘﾝ)、西谷友里(ｻｯｸｽ)、大下結美花(ﾊﾞﾚｴ)、山下彩香(ﾊﾞﾚｴ)<br>[内容]小学生のいる家族を対象に様々な楽器による演奏とバレエを１日で「観る・聴く」「体験」できるスペシャルなコンサート |
| アート SQUARE 夢空間 vol.43 Afternoon Concert -アフタヌーンコンサート- | 12 月 21 日 | とりぎん文化会館 イベントホール | 70 名 | [出演]竹田詩織(ｳﾞｧｲｵﾘﾝ)、田尻順(ｳﾞｧｲｵﾘﾝ)、竹田朋代(ﾋﾟｱﾉ)、竹田篤司 ※賛助(打楽器)<br>[内容]ドリンク･お茶菓子をセットで提供し、ホールでのコンサートとは異なる気軽に鑑賞できるコンサート |

#### （イ）とりぎん文化会館ホール探検ツアー

職員による分かりやすい解説とともに、普段見ることが出来ない梨花ホールの舞台裏の設備や機材、上演準備が進む実際の舞台を間近に見ることで、参加者の好奇心をより掻き立て、地域に根差した身近なホールとなるためホール探検ツアーを開催した。

| 催物名 | 開催日 | 開催場所 | 参加者数 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| とりぎん文化会館「ホール探検ツアー」 | 10 月 13 日 | とりぎん文化会館 梨花ホール | 19 名 | 新作バレエ「赤毛のアン」の舞台裏の見学<br>[説明]技術管理部副部長 林原祐二、田中勲<br>１ 楽屋通路見学<br>２ ３階客席見学<br>３ ２階客席見学<br>４ 照明・音響調整室見学および照明操作体験<br>５ オーケストラピット見学<br>６ 舞台袖見学 |

#### （ウ）みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート

県民文化会館が地域にとって身近で親しみやすい施設となることを目的とし、保有している２種のグランドピアノを活用し、それぞれの特色や魅力を感じる事業を実施した。

| 催物名 | 開催日 | 開催場所 | 入場者数 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| 梨花ホールレクチャーコンサートシリーズ vol.6「みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート」 | 8 月 25 日 | とりぎん文化会館 梨花ホール | 116 名 | ２種のｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟｱﾉを用い、それぞれの特徴や歴史など解説を交えながら特有の音色、響きを楽しむﾚｸﾁｬｰ付ｺﾝｻｰﾄ。演奏者によるﾋﾟｱﾉや曲の説明だけでなく、ﾋﾟｱﾉ技術者による体験や観察を織り交ぜた企画を実施。<br>[出　演]大井駿(ﾋﾟｱﾆｽﾄ)<br>西川ﾋﾟｱﾉ調律所 西川昌孝(ﾋﾟｱﾉ技術者)<br>[演奏曲]<br>・ﾊﾞｯﾊ：ﾌﾗﾝｽ組曲第５番 BWV816 より ｱﾙﾏﾝﾄﾞ<br>・ｼｮﾊﾟﾝ：ﾎﾟﾛﾈｰｽﾞ第６番 作品 53「英雄」ほか |

## （３）文化芸術・舞台技術支援（文化団体等）

### ア　企画職員及び舞台技術職員による助言と支援

**【舞台技術支援】**

| 区　　分 | 件数 | 実施日 | 参加者･受講者等 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| 教育機関関係 | 2 件 | 5 月 14 日 | 27 名<br>(大学生) | 鳥取大学地域学部の学生に対して、舞台技術解説と梨花ホールの施設見学会を行った。 |
| | | 1 月 10 日 | 19 名<br>(大学生) | 鳥取大学地域学部の学生に対して、小ホールで舞台技術研修会を行った。 |
| 文化活動者 | 3 件 | 9 月 26 日 | 23 名<br>(劇団員) | 鳥取大学演劇サークルに対して、公演を行う際の舞台技術全般について実技も併せた研修会を行った。 |
| | | 11 月 23 日 | 1 名<br>(劇団関係者) | 演劇公演に関わる当館設備の照明操作卓の使用方法を説明した。 |
| | | 1 月 17 日 | 3 名<br>(劇団関係者) | 演劇公演に関わる高所作業の安全講習を実施した。 |
| 合　計 | 5 件 | | 73 名 | |

## （４）プロデュース事業（決算額 60,475 千円）

### ア　音楽《ＴＣＯ 鳥取チェンバーオーケストラ事業》

STAGE１ STAGE２ STAGE３

**（ア）室内楽セミナー**

若年層を対象とした育成プログラムにて、若手弦楽活動者の技術や意欲をさらに育て伸ばす「スキルアップ」を目的にセミナーを実施した。室内楽セミナーでは、鳥取県出身・在住の演奏家で構成された「鳥取チェンバーオーケストラ」のメンバーを講師に迎え、県内外の小学生～一般の弦楽活動者を対象としてクラス分けを行い、３日間にわたって指導を実施し、最終日４日目には成果発表を行った。

| 催物名 | 開催日 | 開催場所 | 参加者数 | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 室内楽セミナー | 7 月 31 日<br>～8 月 3 日 | とりぎん文化会館<br>小ホール<br>リハーサル室<br>第１～４練習室 | 初級 10 名<br>中級　7 名<br>一般　6 名 | 竹田詩織、湯淺いづみ、桑本ゆうき<br>棚橋恭子、眞家利恵、時本野歩<br>中嶋寄恵、神庭智子 |
| 合　　計 | | | 23 名 | |

**（イ）第５回定期公演**

平成２８年度事業で立ち上げた「鳥取県クラシック・アーティストオーディション」受賞者及び若手弦楽演奏家等、国内外で活躍する県出身プロ奏者を中心に構成する『鳥取チェンバーオーケストラ』の第５回定期公演を開催した。

○開催日時：令和６年１１月４日（月・休）開演１４：００／入場者数８８４名
○会　　場：とりぎん文化会館　梨花ホール
○内　　容：鳥取県出身・在住奏者を中心に構成する室内合奏団「鳥取チェンバーオーケストラ」による弦楽アンサンブルコンサート。指揮者を置かないメンバーのみの演奏で、特別ゲストに服部百音を迎え、日本初演曲を含む４曲を演奏した。
［プランニング・アドヴァイザー］西川彰一（NHK交響楽団 芸術主幹）
［顧　問］山田衛生（鳥取県オーケストラ連盟副会長）
［出演者］弦楽：鳥取チェンバーオーケストラ（１９名）
特別ゲスト：服部百音

### イ　演劇《プロデュース公演 U-18 シアタープロジェクト Act. 3》（令和８年度公演準備）

STAGE２ STAGE３

令和８年度公演実施に向け県内１５～１８歳を対象に広く呼びかけ、演劇公演に必要とされる戯曲を基礎から学び、本公演に使用する作品の完成を目指すための「演劇台本書き方講座」を開催した。

| 催物名 | 開催日 | 開催場所 | 参加者数 | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 演劇台本書き方講座 | ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ／9月8日<br>講座（全14回）／<br>9月21日～令和7年3月30日 | エースパック未来中心<br>ほか県中部 | 6名 | 森川剛、岡田達也 |

### ウ　舞踊《プロデュース公演　新作バレエ「赤毛のアン」》 STAGE1 STAGE2 STAGE3

鳥取県の特色ある地域文化をもとに、国内外で活躍するプロフェッショナルのサポートを受け、地元活動者と協働してオリジナル舞台作品を制作・上演した。

新作かつ創作バレエを財団として初めて企画することで、職員の企画制作能力ならびに管理施設（梨花ホール）の舞台機構を最大限に使用するための技術力向上を図り、併せて地域のリーダー館としての役割を果たすことを目指す。創作作品は、普遍的で全世代に親しまれてきた「赤毛のアン」を題材に、幅広く県民に対して作品やバレエの魅力を多面的に伝え、特に若年層に質の高い実演芸術を身近なホールで鑑賞できる機会を提供し、実演芸術の魅力を発信した。

○開催日時：令和６年１０月１２日（土）開演１６：００／入場者数　８２５名
　　令和６年１０月１３日（日）開演１４：００／入場者数１，１５４名
○会　　場：とりぎん文化会館　梨花ホール
○内　　容：新作バレエ「赤毛のアン」全３幕
［振付・演出］山本 康介　［指揮・音楽監督］井田 勝大
［台本］森川 剛　［作曲・編曲］葛西竜之介
［管弦楽］鳥取チェンバーオーケストラ特別編成
［出演者］小林 美奈（K-BALLET TOKYO プリンシパル・ソリスト）
栗山 廉（K-BALLET TOKYO プリンシパル・ソリスト）
福田 圭吾（元新国立劇場バレエ団 ファースト・ソリスト）
永橋あゆみ（谷桃子バレエ団 プリンシパル）
大下結美花（鳥取県出身／出演者オーディションにより選出）
生田 絵美（鳥取県出身／出演者オーディションにより選出）
山下 彩香（鳥取県出身／出演者オーディションにより選出）
安部 紬（鳥取県出身／出演者オーディションにより選出）
ほか鳥取県ダンサー・子役７９名

### エ　古典・伝統芸能《とっとり伝統芸能フェスティバル》 STAGE2 STAGE3

これまで財団で取り組んできた「鳥取県青少年郷土芸能の祭典」と鳥取県主催の「とっとり伝統芸能まつり」を統合し、地域に根付く郷土芸能の伝承・発信を主軸とし新たな事業展開を行うことで、地域独自の文化継承に寄与するとともに、その素晴らしさを広く県民に伝え、郷土芸能への興味・関心を引き出すことを目指した。県内活動団体に大きな舞台での発表の機会を提供し、勇気と自信をもたらすとともに、県外・国外団体及びゲスト演奏者との交流による技術向上と意識啓発に繋げた。

また、地域が一体となって郷土芸能を支援する環境づくり、後継者育成、県内郷土芸能団体の活性化、ネットワークづくりを図った。

| 催物名 | 開催日 | 開催場所 | 参加者数 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| とっとり郷土芸能<br>フェスティバル2025 | 3月9日 | エースパック未来中心<br>大ホール | 401名 | ホールを会場にした郷土芸能発表<br>［出演］倉吉農業高等学校 倉農太鼓部、由良だんじり青年団、公立鳥取環境大学和太鼓部、屋住獅子舞保存会、菖蒲神社麒麟獅子舞保存会、こだいぢ踊り保存会 |

## （5）市町村連携・交流プログラム（決算額 2,548 千円） STAGE2

### ア　実演芸術市町村連携公演事業

本格的なホールでの鑑賞機会が少ない市町村在住者を対象に、市町村と協働して、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供することで、新規鑑賞者に開拓、潜在的な鑑賞者を掘り起こし、地域の文化芸術の発展と地域の活性化を図った。

また、協働を通じて、事業実施に伴うノウハウを伝えるとともに、文化芸術事業への関心を高めることで、市町村独自の取組の充実に繋げた。

| 事 業 内 容 | 開 催 日 | 開催場所 | 入場者数 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 岩美町制７０周年記念コンサート『～蒼海の響き～』 | 10 月 5 日 | 岩美町中央公民館 いわみんホール | 250名 | |
| N響奏者＆鳥取チェンバーオーケストラ奏者による琴浦おめでとうコンサート♪ | 10 月 26 日 | 琴浦町赤碕地域コミュニティーセンター | 126名 | 連携と協力に関する包括協定を締結（令和6年10月2日） |
| 市町村連携公演 in 江府町　～N響・ＴＣＯメンバーによるカルテット（四重奏）～ | 10 月 27 日 | 江府町立奥大山江府学園ブナの森校舎 | 80名 | 連携と協力に関する包括協定を締結（令和5年7月12日） |
| 鳥取チェンバーオーケストラメンバーが奏でる弦楽四重奏 in 日南町 | 1 月 30 日 | 日南町総合文化センター さつきホール | 230名 | 連携と協力に関する包括協定を締結（令和7年1月22日） |
| 地域共生「にじいろフェスタ」 | 3 月 1 日 | 八東体育文化センター 遠見山アリーナ | 177名 | |
| ことうらキッズコンサート | 3 月 20 日 | 琴浦町赤碕地域コミュニティーセンター | 128名 | |
| 合　　計 | | 6件 | 991名 | |

**（6）教育普及プログラム（普及事業）（決算額 6 千円）** STAGE１

**ア　ようこそ劇場プロジェクト（調査年）**

多感な時期の子どもたちが心豊かで活力ある生活を送るとともに、その無限の可能性を広げるための足がかりとなるよう、鳥取県ゆかりのアーティストによる生の文化芸術と出会い、触れ合い、さまざまに感じる機会を県内の文化施設等で実施する。

本年度は、令和７年度からの段階的な実施に向け、子どもたちを文化施設に招いて文化芸術を届けるこの取組に必要な事項等を鳥取県教育委員会、鳥取市教育委員会、県内バス業者等へ聞き取り調査を行い、令和７年度の参加校を募集し、決定した。

**（7）人材育成プログラム（決算額 704 千円）** STAGE１ STAGE２

**ア　舞台技術研修会**

舞台芸術活動を行う鳥取県東部地区の高校演劇部員や顧問教諭を対象として、高校演劇に係る裏方全体の質の向上に寄与することを目的とした施設見学会を行った。

| 開催日 | 開催場所 | 参加者数 | 内　　容 |
|---|---|---|---|
| 5 月 4 日 | とりぎん文化会館 梨花ホール | 54 名 | 舞台技術（舞台・照明・音響）の解説及び実技 |

**イ　鳥取県劇場等職員セミナー**

公立劇場等の職員や文化行政担当者を対象に、スキル向上・専門性強化・ネットワーク構築を目的としたセミナーを開催した。企画・運営は鳥取県文化施設協議会の加盟館によるプロジェクトチームが担い、共通プログラム、専門プログラム、グループ討議を通じて基本的な考え方を共有し、現場の課題解決や情報共有の活性化を図った。

| 開催日 | 開催場所 | 参加者数 | 内　　容 |
|---|---|---|---|
| 1 月 28 日 | エースパック未来中心 小ホール セミナールーム１ | 75 名 | ［プログラム１］<br>「劇場の未来～地域の公立文化施設はどうあるべきか」<br>講師：(公社) 全国公立文化施設協会専務理事兼事務局長　岸　正人氏<br>［プログラム２］<br>「”~~いまさら聞けない~~”いまからのアートマネージメント」<br>講師：愛知県芸術劇場企画制作部参事　林健次郎氏<br>［プログラム３］<br>「あれ？こんなはずじゃ？実例から学ぶ広報戦略のアレコレ」<br>講師：愛知県芸術劇場企画制作部参事　林健次郎氏<br>［プログラム４］<br>「地域で愛されるホールを目指して～保守点検から考える～」<br>講師：（株）ｼｱﾀｰﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ 代表取締役　伊東正示氏<br>［プログラム５］<br>「安全なホールを目指して～危機管理と安全管理～」<br>講師：県民文化会館技術管理部副部長　林原 祐二氏 |

**（８）県内公立文化施設及び関係機関等連携事業**

**ア （公社）全国公立文化施設協会中四国支部委員館**

鳥取県の代表館として、支部委員会（年３回）、研修会（業務管理研究会、アートマネジメント研修会、技術職員研修会）、調査・研究のための部会（経営環境部会、事業環境部会、特別部会）に関することなど、各支部委員館と連携して適正かつ円滑に中四国支部の運営を行うとともに、当協会の副会長に関する業務を行った。

［参考］令和２年２月から県民文化会館館長が（公社）全国公立文化施設協会の副会長に就任。

**イ 鳥取県文化施設協議会会長館（事務局事務）**

総会の開催及び鳥取県劇場等職員セミナーに係るプロジェクトチーム（加盟館で構成）による内容の検討・開催、加盟館への情報提供など、当協議会に関する事務・事業の運営を行った。

**３ 倉吉未来中心管理運営事業【決算額 238,429 千円】**

**（１）施設の貸与事業（公益目的事業に係る施設貸与：50.0%）**

**ア 管理事務**

（ア）施設設備の維持管理に関すること
（イ）利用の許可に関すること
（ウ）利用者の応接に関すること
（エ）管理状況の報告に関すること

**イ 利用料徴収事務**

（ア）利用料の調定に関すること
（イ）利用料の収納及び還付に関すること
（ウ）利用状況の報告に関すること

**（２）未来つながるプロジェクト（決算額 3,334 千円）** STAGE１

当財団が掲げる「ARTS FOR EVERYONE ～アートでつながる、心うるおう、未来のために～『とっとり ひと・まち元気！ライブ･アート･プロジェクト』～」を事業コンセプトとし、「人と人との交流促進」及び「地域の活性化」という倉吉未来中心の設置目的の達成を目指し、地域のこれからの活力ある“まちづくり”と心豊かな“ひとづくり”を目標とした「未来つながるプロジェクト」を実施した。

**ア 将来を担う子供たちへの取組**

**（ア）ハッピースマイルコンサート**

倉吉未来中心プロデュースによる乳幼児から鑑賞可能な子ども向けコンサートをインリーチ・アウトリーチの両面で開催することで、地域の将来を担う子ども達が等しく実演芸術に触れ、親しむ機会を提供した。

①インリーチ編

| 催物名 | 開催日 | 開催場所 | 来場者数 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| ママ・パパ向け<br>「Relaxation Concert」 | 12 月 6 日 | エースパック未来中心<br>小ホール | 71 名 | ［出演］岸本聖華、西谷友里、山内菜央<br>［内容］ピアノ・サックス・マリンバによるマタニティコンサート |
| 乳幼児向け<br>「ハッピースマイルコンサート」 | 2 月 11 日 | エースパック未来中心<br>小ホール | 159 名 | ［出演］岸本聖華、西谷友里、山内菜央<br>［内容］ピアノ・サックス・マリンバによるキッズコンサート |
| 合　　計 | | | 230 名 | |

②アウトリーチ編

| 催物名 | 開催日 | 開催場所 | 来場者数 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| ハッピースマイル<br>コンサート in 三朝町 | 10 月 24 日 | 三朝町総合文化<br>ホール | 町内 2 園<br>90 名 | ［出演］岡野志穂、各務美香、岡野光<br>［内容］町内保育園・こども園向けコンサート |
| ハッピースマイル<br>コンサート in 北栄町 | 11 月 5 日 | 大栄農村環境改<br>善センター | 町内 4 園<br>119 名 | ［出演］岡野志穂、各務美香、岡野光<br>［内容］町内保育園・こども園向けコンサート |
| ハッピースマイル<br>コンサート in 琴浦町 | 11 月 28 日 | 琴浦町赤碕地域<br>ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰ | 町内 7 園<br>145 名 | ［出演］岡野志穂、各務美香、岡野光<br>［内容］町内保育園・こども園向けコンサート |
| ハッピースマイル<br>コンサート in 湯梨浜町<br>20 周年おめでとうスペシャル | 12 月 22 日 | 湯梨浜町ハワイ<br>アロハホール | 408 名 | ［出演］打楽器アンサンブル y`z、西谷友里<br>［内容］町制 20 周年を記念したファミリーコンサート |
| 合　　計 | | | 762 名 | |

### イ　交流促進・賑わい創出の取組

#### （ア）みらい楽演祭

地域における交流促進・地域活性化拠点及び文化芸術振興拠点として、施設の特色を活かしながら、年齢を問わず気軽に実演芸術に触れる機会の創出を図り、施設の賑わいの創出と活力あるまちづくりへとつなげた。

| 催物名 | 開催日 | 開催場所 | 来場者数 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| 「Friday Night Concert」 | 7月19日 | エースパック未来中心 小ホール | 107名 | ［出演］湯淺いづみ、山川智馨<br>［内容］カジュアルスタイルでのピアノ・ヴァイオリンデュオコンサート |
| 「マイ・フェイバリット・ミュージックⅡ」 | 3月16日 | エースパック未来中心 小ホール | 100名 | ［出演］小川智也、生和光明子、岡野琴莉、岸本聖華、津田大介、各務美香、はまべゆかり<br>［内容］「私のお気に入り」をテーマとした県在住若手音楽家によるコンサート |
| 合　　計 | | | 207名 | |

#### （イ）施設体験ツアー

地域における文化芸術振興拠点として、様々な実演芸術の上演により感動や潤いをもたらす場としてのホールの魅力や役割、そこで働く職員の仕事に触れる企画を通じ、地域住民により倉吉未来中心を身近に感じ、愛着を持ってもらえることを目指した。

| 催物名 | 開催日 | 開催場所 | 来場者数 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| Wコンサートピアノ演奏体験 | 7月<br>①13日<br>②14日<br>③20日<br>④21日 | エースパック未来中心 大ホール | 計20組<br>49名 | [内容]会館が所有する2大コンサートピアノ(スタインウェイ、ベーゼンドルファー)を使った演奏体験 |
| 倉吉未来中心ホール探検ツアー～夏休みスペシャル～ | 7月31日 | エースパック未来中心 大ホール | 40名 | [内容]倉吉市内の放課後児童クラブを対象としたホールバックステージツアー |
| 倉吉未来中心 ホール探検ツアー | 1月11日 | エースパック未来中心 大ホール | 24名 | [内容]小学生親子を対象とした、ご当地ヒーローショー形式のバックステージツアー |
| 合　　計 | | | 113名 | |

### ウ　活動支援の取組

#### （ア）未来つながるアーティストプログラム

キッズプログラムやアウトリーチに対応できる若手アーティスト育成を目的としたレクチャープログラムの定期ミーティングを開催した。

| 回数 | 開催日 | 開催場所 | 参加者数 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| 1回目 | 7月14日 | エースパック未来中心 セミナールーム2 | 4名 | ［講師］西川周介（倉吉未来中心館長）<br>［参加］西谷友里、岸本聖華、山内菜央<br>［内容］倉吉未来中心が掲げるミッション等についてのレクチャー |
| 2回目 | 8月24日 | エースパック未来中心 セミナールーム2 | 4名 | ［講師］齊木恭子（幼児教育専門家）<br>［参加］西谷友里、岸本聖華、山内菜央<br>［内容］幼児教育の専門家によるレクチャー |
| 合　　計 | | | 8名 | |

#### （イ）舞台技術ワークショップ

舞台技術に興味のある一般の方を対象に、「舞台」「音響」「照明」などの舞台技術に関する基礎知識の習得を目的とするワークショップを行い、舞台現場を支える人材の育成を目指した。

| 回数 | 開催日 | 開催場所 | 参加者数 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 5月18日 | エースパック未来中心 小ホール | 27名 | ［講師］倉吉未来中心舞台技術室<br>［内容］中部地区高校演劇部員向け舞台技術基礎講座 |
| 第2回 | 8月6日 | エースパック未来中心 大ホール | 23名 | ［講師］森田茂伸<br>［内容］中部地区高校演劇部員・一般活動者向け舞台照明講座 |
| 第3回 | 2月14日 | エースパック未来中心 小ホール | 4名 | ［講師］上田誠、牧原瞳<br>［内容］中部地区公共ホール職員・一般活動者向け舞台音響講座 |
| 合　　計 | | | 54名 | |

**４　鳥取県文化振興財団文化振興事業基金事業**　　**【決算額 38,924 千円】**

鳥取県からの基金造成事業補助金の交付を受け、県民の多様化、高度化する文化への志向に応え、県民文化の向上に寄与するため、鑑賞プログラムの実施経費等へ充当し活用した。

［文化振興財団事業 22,594 千円］
・観賞プログラムに係る事業費

［県民文化会館管理運営事業 16,330 千円］
・財団推進事業費（Microsoft365 等導入支援、ホームページリニューアル等）
・文化芸術事業実施に係る倉吉未来中心駐在職員人件費
・県民文化会館の管理運営に関する協定書に基づく複数年契約導入に係る請負差額の返納金及び決算確定に伴う収支差額

**収１：県民が広く利用する公の場を提供することにより、県民の様々な活動の場を支援するための事業**

指定管理者として、鳥取県から委託を受け、協定書に基づき、県民が広く利用する公の施設の受託管理者として施設の管理運営を行い、施設の貸与について、文化振興に関する目的及び文化を通した人と人との交流目的以外で、県民の様々な活動の場を提供しました。

**１　鳥取県立県民文化会館の管理運営の受託のうち公益目的事業以外の施設貸与：50.0%**
**２　鳥取県立倉吉未来中心の管理運営の受託のうち公益目的事業以外の施設貸与：50.0%**

**法人の管理運営**

公益財団法人鳥取県文化振興財団の事務・事業の適正かつ円滑な運営を行います。　**【決算額 5,733 千円】**

**１　資産の管理に関すること**
**２　評議員会に関すること**
**３　理事会に関すること**
**４　事業計画、報告及び収支予算、決算に関すること**
**５　人事管理、給与関係事務に関すること**
**６　会計経理及び契約に関すること**
**７　関係機関との連絡調整に関すること**
**８　人材育成に関すること**
**９　その他、財団の事務処理に関すること**

**改修工事等の概要**

県民文化会館、倉吉未来中心の建物や各設備は、経年劣化による老朽化が年々進んでいることから、利用者の安全確保と、従来の利用形態にとらわれない多様なニーズに対応するため、優先順位を設定し、中央熱源設備、調光・一般照明 LED 化、電気設備、消防設備、AV システム、屋根（防水）、舞台設備改修（舞台機構、映像、ピアノ）、バリアフリー改修（ハートフル駐車場・スロープ屋根新設）を計画的に行うこととしている。

県民文化会館熱源機器改修については、重油式からガス式への変更に伴う配管敷設及び機器更新を行い、作業中はすべてのホールの空調ができないため、ホール利用に影響のないよう中間季にホワイエクロス張替作業と同時に実施した。

また、倉吉未来中心においては、開館から２４年を迎えており経年劣化による改修工事が増加しており、スプリンクラー制御盤更新、デジタルサイネージ新設の他、多数工事作業を行うが催事に影響のないよう休館日を中心に実施した。

なお、各工事は鳥取県の予算により執行されたものである。

| 区分 | 工　事　種　別 | 工　期 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県民文化会館 | 中央熱源設備改修工事 | 令和６年４月～７月 | ホール利用停止<br>令和６年4～7月 |
| | 小ホールホワイエクロス張替工事 | 令和６年４月～５月 | 小ホール利用停止期間中に実施 |
| | 第３会議室、イベントホール、<br>リハーサル室照明LED化改修工事 | 令和６年１２月～令和７年３月 | 各室利用停止は、各々1カ月程度 |
| | 監視カメラシステム整備 | 令和６年１０月～１１月 | |
| | 小ホール舞台機構設備改修 | 令和７年２月～３月 | |
| | ハートフル駐車場・スロープ改修工事 | 令和７年中（予定） | 鳥取市許可申請中 |
| | 受変電設備改修工事 | 令和７年１月 | |
| | 空調設備（AHU）整備 | 令和７年２月 | |
| | フリースペースエレベータ新設工事 | 実施設計のみ | 令和７年度工事予定 |
| 倉吉未来中心 | ホール棟マーカス扉更新業務 | 令和６年６月 | |
| | 屋上防護パネル塗装改修ほか工事に<br>係る実施設計委託 | 令和６年５月～令和６年８月 | |
| | ホール棟東屋上保護パネル塗装改修 | 令和６年１０月～令和７年１月 | |
| | 子育て応援駐車場整備業務 | 令和６年８月～１１月 | |
| | 水道メーター更新業務 | 令和６年８月～令和７年３月 | |
| | 親時計設備更新業務 | 令和６年８月～令和７年３月 | |
| | セミナールーム１AVシステム更新業務 | 令和６年８月～令和７年３月 | |
| | アトリウム西側ほかロールスクリーン設置業務 | 令和６年８月 | |
| | 北入口自動扉エンジン装置更新業務 | 令和６年８月～１０月 | |
| | 駐車場ほかサイン改修業務 | 令和６年８月～１２月 | |
| | スプリンクラー制御盤更新業務 | 令和６年８月～令和７年３月 | |
| | 直流電源装置更新業務 | 令和６年８月～令和７年３月 | |
| | 上水用加圧ポンプ更新業務 | 令和６年９月 | |
| | 蒸気ボイラー更新ほか工事 | 令和６年９月～令和７年２月 | |
| | 携帯型無線機更新 | 令和６年１０月 | |
| | ベーゼンドルファーピアノ<br>オーバーホール | 令和６年１１月～令和７年３月 | |
| | サイネージシステム導入業務 | 令和７年１月～３月 | |